

連合栃木宇河地域協議会 結成 20 年の軌跡

連合栃木宇河地協



日本労働組合総連合会栃木県連合会
宇河地域協議会

あいさつ

連合栃木宇河地域協議会の 結成20年を迎えて

連合栃木宇河地域協議会

議長 **古川 知耶**



連合栃木宇河地域協議会は、結成以来20年という大きな節目を迎えることができました。本日ここに、結成20周年記念レセプションを盛大に開催できますことは、偏に、日頃から私たちの活動に多大なるご理解とご協力をいただいております組合員、行政、各級議員、労働福祉団体の皆様をはじめ、すべての関係各位の温かいご支援の賜物であり、心より厚く御礼申し上げます。

宇河地協は2005年の結成以来、「働くことを軸とする安心社会」の実現を目指し、宇都宮市・上三川町の1市1町において、地域に根ざした活動を地道に展開してまいりました。労働環境の維持・向上に向けた取り組みはもちろんのこと、地域社会への貢献、政策制度要求の推進、そして何よりも「働く仲間とその家族」の暮らしに寄り添う活動を継続できましたことは、私たちの大きな誇りです。これまでの歩みを力強く支えてくださった組合員の皆様、そして情熱を持って道を切り拓いてこられた先輩諸兄姉の並々ならぬご尽力に対し、改めて深い敬意と感謝の意を表する次第です。

現在、私たちを取り巻く環境は、長引く物価高騰への対応をはじめ、少子高齢化の加速、深刻な人手不足、さらには働き方の多様化など、多くの課題に直面し、大きな転換期を迎えています。社会構造が急速に変化する今だからこそ、地域における労働運動の舵取り役として、私たち宇河地協が果たすべき役割と責任はますます重大になっていると確信しております。

次の10年、20年に向け、私たちはこれまでの輝かしい歩みを確かな財産としつつ、時代の変化にしなやかに対応してまいります。そして、誰もが生き生きと安心して働き続けられる「地域社会のセーフティネット」としての機能をより一層強化し、さらなる飛躍をめざして邁進する所存です。

結びに、本日ご列席の皆様、そしてすべての働く仲間のますますのご健勝とご多幸、各構成組織の今後のより一層のご発展を心より祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

祝 辞

宇河地域協議会結成20周年によせて

連合栃木

会長 中島 一実



連合栃木宇河地域協議会が結成20周年という大きな節目を迎えられましたことを、連合栃木並びに栃木県労福協の立場からも心よりお祝い申し上げます。

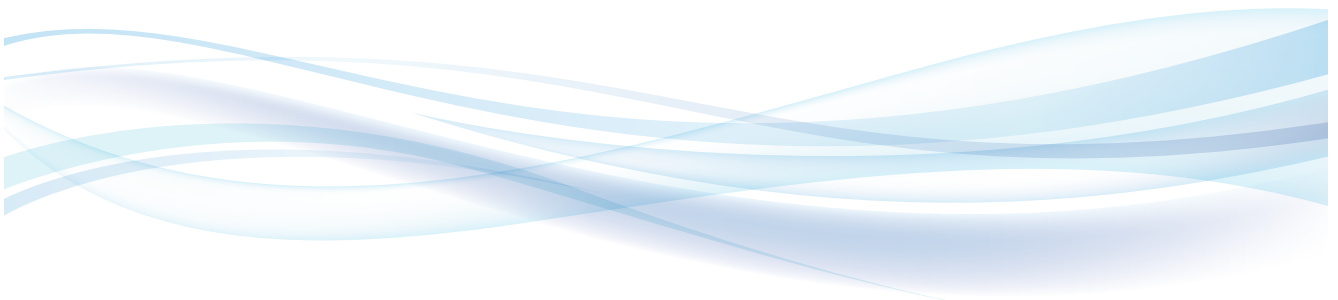
20年という歳月は決して短いものではありません。この間、地域協議会の活動を支えてこられた歴代役員の皆さま、加盟組織の皆さま、そして関係するすべての皆さまのご努力とご尽力に、敬意と感謝を申し上げます。

宇河地域協議会は、働く仲間の連帯を深めることはもちろん、地域清掃活動や各種イベントへの参加、政策・制度実現に向けた取り組みなど、地域に根差した活動を積み重ねてこられました。その一つひとつの活動が、地域社会との信頼関係を築き、今日の宇河地域協議会の礎となっているものと思います。

この20年間を振り返ると、東日本大震災やコロナ禍をはじめ、私たちの暮らしや働く環境は大きく変化しました。しかし、どのような時代であっても「仲間を支え合う」「地域とともに歩む」という労働組合の原点は変わりません。宇河地域協議会は、その原点を大切にしながら歩み続けてこられたのではないのでしょうか。

本日のレセプションでは、これまでの歩みを振り返りながら、多くの仲間とともに20周年の喜びを分かち合い、語り合い、そして次の10年、20年への新たな一歩を踏み出していきたいと思います。連合栃木としても労福協としても、宇河地域協議会が地域における働く仲間の拠り所として、さらに発展されることを心より期待しております。

結びに、宇河地域協議会のますますのご発展と、本日ご出席の皆さまのご健勝、ご多幸を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



歴代議長からの祝福メッセージ

(敬称略)



鈴木 正行
2005-2007
[初代議長]

連合栃木宇河地域協議会、結成20周年記念レセプションの開催、おめでとうございます。2006年11月の、第1回定期総会以降、この20年間にわたる宇河地協の諸活動に対する各構成組織の皆さまの、積極的なご協力に感謝を申し上げます。当時の連合栃木伍井会長、青木副会長のご尽力のもと、宇河地域協議会が立ち上がり、連合栃木の運動の基調を、宇河地域においてより具現化し、公正・公平な社会づくりを目指し、安心・安定・安全な社会環境をつくるために、労働条件の維持向上や政策・制度課題の改善に向け積極的に取り組んで参りました。

そのような中で、青木会長に於かれましては、公私共にまだまだご指導を、頂きたいところでしたが願いもかなわず、令和8年4月に先立たれました。これからも、連合栃木宇河地域協議会の活動を、天から暖かく見守っていただいていることと思います。ご冥福をお祈りいたします。

さて、立ち上げ時の思い出として、宇河地域ユニオンの結成総会をはじめ、各種政策制度の取組で、多くの支援議員の皆様を政界へ送り出す地道な取組み、地域社会との交流で、クリーンキャンペーンや様々なセミナー活動、宇河地区労働組合野球大会など、事務局員や組合員の皆さまの、弛まない協力に支えられてきました。中でも第77回栃木県メーデーで、2万人の組合員の皆さまの壇上の前で、開会宣言をしたことは、今でも忘れられません。

最後に、本日のレセプションにお集まりの皆様や、各産別単組の役員ならびに組合員の皆様のご指導ご協力があったこそ、宇河地協の諸活動が今後も30年、40年と継続していきます。組合員の皆様、ご家族の皆様の安心・安定・安全な生活が維持継続されますよう、心から祈念いたします。



大川 徹
2007-2008

連合栃木宇河地域協議会結成20周年、誠におめでとうございます。

これまで20年の長きにわたり、組合員の生活、働き方の向上を支えてこられたことに、深く敬意を表します。

私も在籍していた当時の出来事では、任期満了間際に第45回衆議院議員選挙が執り行われ、支持政党による政権交代が起きたことを懐かしく思い出し、諸先輩、仲間の皆様に支えられながら多くの経験と学びをいただいたことに、改めて感謝しております。

今後も貴協議会がより一層発展され、働く仲間の安全と安心を支える存在として活動されることを心よりお祈り申し上げます。



高木 隆
2009-2010

連合栃木宇河地域協議会設立20周年を心よりお祝い申し上げます。

私が議長を務めていた当時は、加盟組織の皆様と力を合わせ、働く者の声を地域に届けるため活動に取り組んだことが今でも懐かしく思い出されます。

時代の変化とともに労働運動を取り巻く環境も大きく変わりましたが、宇河地協が築いてきた連帯と信頼の歩みは、今日の発展につながる大きな力となっています。

20年の歴史に敬意を表するとともに、今後ますます地域に根差した活動を展開され、さらなる発展を遂げられることを心より祈念申し上げます。



関根 満
2010-2011

本日ここに、連合栃木宇河地域協議会結成20周年記念レセプションが盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

宇河地域協議会におかれましては、設立以来20年にわたり、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、地域に根ざした活動を積み重ねてこられました。労働条件の向上や雇用の安定、地域政策への提言、そして働く人々の声を社会へ届ける活動など、その歩みは地域社会の発展に大きく寄与してこられたものと存じます。

この20周年を新たな出発点として、宇河地域協議会が今後ますます発展され、誰もが安心して働き暮らせる地域社会の実現に向けて、さらなるご活躍を祈念いたします。



川島 広也
2011-2012

連合栃木宇河地方協議会結成20周年誠におめでとうございます。

現在の我々の置かれた状況から働き方や暮らし方を考え、将来を見据え改革を進めていくためにも労働組合が担う役割や責任は、非常に重要になると思います。そして宇河地協としての役割を更に明確にし、連合7つの絆を中心に積極的な取り組みを今後も進めて頂きたいと思います。

これまでのご努力とご功績に心より敬意を表すると共に、今後のさらなる益々のご発展をお祈り申し上げます。



佐藤 恵
2013-2014

宇河地域協議会結成20周年、誠におめでとうございます。

2013年から2014年に議長を務めさせていただいた経験は、今でも印象深く心に残っています。現場の声と向き合う中で、普段ではなかなか経験できないような場面に直面することも多く、「こんなこともあるのか」と戸惑うこともありましたが、仲間と知恵を出し合いながら一つひとつ乗り越えてきました。今となっては、そのすべてが貴重な経験であり、大切な財産です。こうした機会に改めて皆様とご縁をいただけたことに感謝するとともに、今後のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



菅原 輝之
2014-2015

宇河地域協議会結成20周年、誠におめでとうございます。

発足以来、働く仲間の結束を礎に、地域に根ざした運動を積み重ねてこられた歩みに、心より敬意を表します。

総会やメーデー、各種行事を通じて仲間と志を共有し、統一地方選挙においても大きな成果をあげてきたことは、忘れ得ぬ思い出であります。

これからも「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、更なる発展を祈念いたします。

歴代議長からの祝福メッセージ

(敬称略)



清水 正和
2015-2017

宇河地域協議会結成20周年、誠におめでとうございます。

この記念すべき佳日を迎えられましたことを、歴代議長として心よりお慶び申し上げます。

振り返りますと、これまでの20年は決して平坦な道のりではなかったのではないかと思います。しかし、幾多の困難も、皆様の結束力と情熱によって乗り越えてまいりました。今日という日があるのは、諸先輩方が築き上げてくださった伝統と、現役の皆様の弛まぬご尽力のおかげです。心より敬意と感謝を表します。

次の10年、20年に向けて、当組織がさらに飛躍し、社会に貢献し続けられるよう、私も一員として皆様と共に歩んでまいります。

これからのご発展を心よりお祈り申し上げます。



吉本 秀和
2017-2019

宇河地域協議会結成20周年、誠におめでとうございます。これまでの長きにわたり、春季生活闘争をはじめとする組合活動の推進、加盟組織間の結束強化、さらには野球大会やボウリング大会などの交流事業を通じた仲間づくり、メーデーやクリーンキャンペーン等の地域貢献活動に尽力されてこられたことに、心より敬意を表します。これらの地道な積み重ねが、地域における確かな信頼と存在感を築いてこられたものと確信しております。今後も時代の変化に対応しながら、働く者の安心とゆとりある生活の実現に向け、更なる飛躍とご発展を遂げられますことをご祈念申し上げます。20周年という大きな節目を契機に、次なる未来へ向けた力強い歩みが続いていくことを期待しております。



伊藤 昌幸
2019-2020

連合栃木宇河地域協議会が結成20周年という大きな節目を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。この二十年は、まさに地域で働く者の雇用と暮らしを守ることを基本理念に宇河地域協議会に集う仲間と共に一步一步積み重ねてきた努力の足跡がしっかりと刻まれています。

私が議長在任中の2020年2月から全世界に猛威をもたらした新型コロナウイルス感染症が蔓延したことで地域協議会の活動が制限され、これまで暦年継承されてきた活動を中止せざる負えない状況となったことを鮮明に記憶しています。

今後も如何なる状況が訪れたとしても基本理念を軸とし、連合栃木宇河地域協議会が丸となり益々発展していく事を祈念いたします。



塩崎 隆行
2020-2021

連合栃木宇河地域協議会結成20周年、誠におめでとうございます。

私が議長を務めた当時、最大の課題は異なる産業や企業の労働組合が、それぞれの立場を超えて地域課題に向き合うことでした。賃金や雇用、働き方への要望は多様で、意見集約には苦勞しました。しかし、何度も論議を重ねる中で相互理解が深まり、「地域で働く人の幸せを守る」という共通の目的を共有できました。行政への政策提言、労働相談、ボランティア活動などを通じて培った連帯の力は、今も私の大きな財産です。

今後も働く仲間と地域社会を結ぶ架け橋として、宇河地協のさらなる発展を心より願っております。



市毛 孝
2021-2023

連合栃木宇河地域協議会結成20周年、誠におめでとうございます。

2021年、2022年度に議長を務めさせていただいたことは、私にとって大変貴重な経験でした。在任中、多くの仲間の思いや支えに触れ、地域でつながることの大切さを実感しました。これまで積み重ねてこられた20年の歩みに敬意を表しますとともに、今後ますます宇河地協が発展されることを心より祈念いたします。



萩原 隆善
2023-2024

連合栃木宇河地域協議会結成20周年、誠におめでとうございます。

これまで20年にわたり、職場環境の向上と組合員の皆様の支えとなる活動を 積み重ねてこられたことに、深く敬意を表します。

私も在籍していた当時は懐かしく思い出し、諸先輩方に支えられながら多くの経験と学びをいただいたことに、改めて感謝しております。

今後も貴協議会がより一層発展され、職場の未来を支える存在として 歩み続けられることを心よりお祈り申し上げます。

皆さん、お身体だけは大事にしてください。



大金 洋之
2024-2025

連合栃木宇河地域協議会 結成20周年、心よりお祝い申し上げます。在任中は意見の相違や予期せぬ課題に何度も向き合い、皆の声を丁寧に取りまとめることを大切にまいりました。特に任期中に実施した宇河クリーンキャンペーンを、上三川町で初開催でき、宇都宮市と上三川町が一つになった瞬間は忘れられない喜びです。宇河役員、宇河に暮らす皆様、そして宇河議員懇の皆様の温かいご支援とご協力に支えられ、初開催にもかかわらず盛況のうちに終えることができました。関係者の皆様へ深く感謝申し上げ、今後のますますのご発展とご健康を心よりお祈りいたします。改めて御礼申し上げます。これからも共に歩み続けましょう。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り致します。

～故青木義明氏を偲んで～



青木氏は2010年度から3期(6年間)に渡り連合栃木会長を務められ、宇河地協では6地協再編前の1997-2005までの8年間議長を務められました。

宇河地協での最終年度は新宇河地協結成に向け結成準備委員会の議長を務められ現体制の礎を築かれました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

2026年4月15日没(享年71才)

宇河地協 20 年のあゆみ

- 1990年 4 月28日 連合栃木「統一(結成)大会」開催
- 1991年 2 月24日 連合栃木宇河地域協議会「第1回定期総会（結成大会）」開催
 ※県内に計13地協が結成（1997年11月 12地協へ）
 ※管轄エリアは宇都宮市、上河内町、河内町、上三川町、南河内町の1市4町（平成の大合併前の市町村名で表記）
- この間の事務所は議長又は事務局長の出身単組に置いており松下電器産業労組、UIゼンセン同盟栃木県支部、カンセキユニオン等を転々
- 2005年11月26日 連合栃木宇河地域協議会「第12回定期総会（解散大会）」開催
- 2005年11月26日 連合栃木宇河地域協議会「第1回定期総会（結成大会）」開催
 ※県内6地協に再編、各地協の事務所を構え専従役員と書記を配置
 ※新事務所「中央ビル202号室」にて業務開始
 宇都宮市御幸ヶ原50-43〔事務所面積15坪〕
- 2010年 2 月 1 日 下栗町へ事務所移転
 ※宇都宮市下栗町696-7〔事務所面積29坪〕
 ※会議室と働く人の生活相談センターとちぎ宇河支部を併設
- 2016年 1 月14日 2016新春賀詞交歓会・結成10周年記念レセプションを開催
- 2019年 3 月22日 栃木県労働者福祉センター（3階）へ事務所移転
 ※宇都宮市中戸祭町821〔事務所面積 7坪〕
 ※連合栃木事務局の一角（元労働相談室）への移転
- 2025年 2 月20日 ケルンカミトビル（1階）へ事務所移転
 ※宇都宮市上戸祭町455-1〔事務所面積 8坪〕



2025年2月竣工の新ビル「ケルンカミトビル」には連合栃木、労福協、日産労連、自治労、UAゼンセン、JAM栃木、電機連合、栃教ネット等も入居し県内の主要な労働組合関連団体が集まり連携を深めています。



すべての働く仲間のための活動

総会

宇河地協の最高決議機関である総会を毎年11月に開催し多くの代議員参加のもと運動方針や予算・役員選出等の確認を行い新たな活動のスタートの場となっています。

総会後には来賓と新旧役員による交流の場を設け貴重な情報共有の場となっています。



春季生活闘争 [春闘]

労働組合の活動の柱とも言える春季生活闘争。

宇河地協では宇河地区管内の主に中小労組の役員向けに学習会や連絡会を開催し、グループ討議や外部講師による講演会を行うなど会社との交渉を少しでも有利に進められるように側面からの支援を行っています。

連合栃木が主催する「春闘総決起集会」にも毎年積極的に参加し、宇河地協からも中小共闘登録組合から選出された単組が春闘アピールを3年に1回の頻度で行っています。



労働相談

2010年の事務所移転の際に「働く人の生活相談センターとちぎ 宇河支部」が設置され、専従での相談員が常駐し、2019年に栃木県労働者福祉センターへ事務所が移転されるまで役割を果たしました。現在、各地協に設置されていた相談センターは栃木県労働者福祉協議会が運営する「働く人の生活相談センターとちぎ」として引き継がれています。



街頭宣伝行動

結成以来、定期的に行っている活動の一つ。

主に早朝、JR宇都宮駅前で通勤通学に向かう人たちに向けた各種テーマに沿ったアピール活動を行っています。

連合栃木の街宣車でアピールテーマに沿った音声を流しながら、管内を走行する活動にも協力しています。



政策を実現するための活動

選挙

個別の労使交渉では解決できない社会問題については、国や自治体の法制度や予算に反映させないと難しいことから、組合員の声を届けてもらう各級議員や首長を増やすべく選挙活動にも取り組んできました。

宇河地協の結成以来、関わってきた選挙は衆議院議員選挙、参議院議員選挙の国政選挙をはじめ、栃木県知事選挙、宇都宮市長選挙、上三川町長選挙といった首長選挙、更に栃木県議会議員選挙、宇都宮市議会議員選挙、上三川町議会議員選挙、と幅広く取り組んできました。

国政選挙では2009年8月の衆議院議員選挙で連合が支援する民主党(当時)が大勝利し政権交代が実現。しかし、残念ながら2012年12月で幕を閉じました。

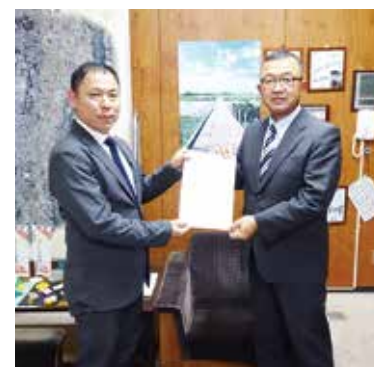
栃木県内での新たな国会議員の誕生が待たれます。



政策制度要求と提言

選挙同様、労働組合からの声を届けるため毎年、宇都宮市と上三川町の首長に対し政策制度要求と提言の要望書を提出しています。

基礎データの一つとして、毎年管内の組合員に対して「暮らしに関するアンケート」の協力を要請し、多くの協力をいただいています。



議会報告会

年に4回開かれる市町の定例議会の後、議会報告会を開催し質問登壇者を中心に議会での質疑等の報告を聞き意見交換を行っています。普段では知り得ない議会の様子を聞けたり、直接議員の方々に要望を伝える事も出来る貴重な機会となっています。



政策研修会

比較的新しい活動の一つで、政策制度要求と提言に活かす事を目的に、宇河地協の役員を対象に実施しています。

近年は県外にも研修先を拡げて活動しています。



働く仲間や家族との連携強化のための活動

メーデー

起源は1886年5月1日。アメリカのシカゴで低賃金と長時間労働の改善を求めてゼネラルストライキを起こした事が始まりで、日本では1920年5月2日、第1回メーデーが東京・上野公園で開かれました。近年は組合員が家族連れで参加出来るイベントとして開かれる傾向が強くなり、宇河地協でもお楽しみ抽選会をはじめお笑い芸人やアマチュアの音楽団体に発表の場を設ける等、毎年趣向を凝らしたメーデーを開催しています。



新春のつどい

毎年1月、新たな気持ちで一年を迎え心合わせの場として「新春のつどい」を開催しています。(2017年までの名称は「新春賀詞交歓会」)近年は構成組織や単組から多くの景品をご提供いただき盛大な抽選会を行っています。



野球大会

旧宇河地協の時代から開催している野球大会で開催数も旧宇河地協から継続し今年は第28回目を開催予定です。

近年はチーム数の減少、悪天候による延期、熱中症対策等に悩まされていますが知恵を絞り開催を継続していきます。



ボウリング大会

2016年に初開催し、コロナ禍を除き毎年継続開催しています。2021年からこくみん共済、2022年からは労金とも共催となり年々盛大な大会となっています。



情報発信

機関誌「かがやき」を年に3回発行しています。他にもFacebookや連合栃木HPを通じてのSNS発信も実施。

近年は紙媒体からデジタルでの配信が主流になってきていますが、宇河地協では紙媒体での発信も継続しており、手元にとって見ていただける事も大切にしています。



社会貢献を通じた社会との連携強化のための活動

クリーンキャンペーン

旧宇河地協時代は「列島クリーンキャンペーン」の名称で開催していた伝統ある行事の一つです。200名超えの参加者が宇都宮市役所に集合し、市街地を一斉に清掃する姿は壮観です。2025年は初めて上三川町で開催しました。



連合平和行動への参加

連合栃木からの要請で連合平和行動に3年に1回役員を派遣しています。

2016年には宇河地協結成10周年記念事業の一環として、連合栃木平和4行動（沖縄・長崎・広島・根室）の全箇所役員を派遣しました。



平和カンパの要請

連合平和4行動や平和団体への支援を目的に、毎年管内行政と議会に対してカンパ金の協力を要請しています。



災害ボランティア研修会

2021年に各地協に災害ボランティアチームが設置され、これを機に毎年災害ボランティア研修会を開催しています。災害発生時には、一人でも多くの方がボランティアに参加出来るように備えるとともに、常日頃の防災・減災への備えの重要性を学ぶ機会にもなっています。



コロナ禍での活動

2020年に発生した世界的コロナパンデミックで組合活動も中止や大幅な縮小等を余儀なくされましたが、その中で何が出来るかを考え、役員出身単組の協力も得ながら医療機関や市町へ計12,000枚のマスク寄贈を行いました。



祝 連合栃木宇河地域協議会 結成20周年

すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、
連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります。



福祉はひとつ

翔子 監

 栃木県労働者福祉協議会

中央ろうきん

結成 20 周年を心より お祝い申し上げます。

〈ろうきん〉は、組合員の皆さまのニーズに応える
ために様々な商品やサービスを提供し、労働組合
の自主福祉活動をバックアップいたします。

■お問い合わせ・ご相談は

〈中央ろうきん〉宇都宮東支店 TEL. 028-661-9531

作成日 2026 年 7 月 22 日

ろうきんイメージモデル
森川 葵

「もしも」に備え
「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

「みんなでたすけあい。豊かで安心できる社会」の実現に向け、
情さまとともに取り組んでいきます。

レセプションのご盛会を
心よりお祝い申し上げます。



公式キャラクター
ピットくん

こくみん共済 NEWS

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop



「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共
済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安
心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨
に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済
生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

